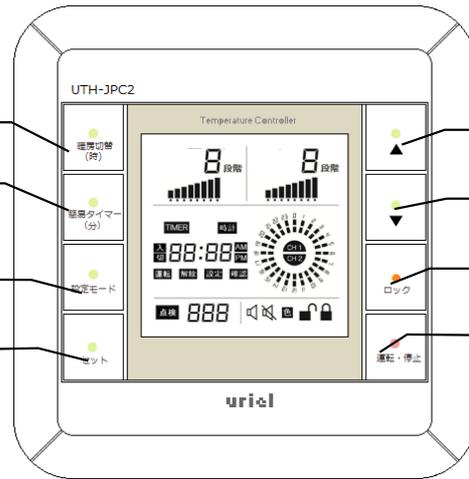


JPCコントローラ簡易取扱説明書(1CH,2CH)

■各スイッチの機能■

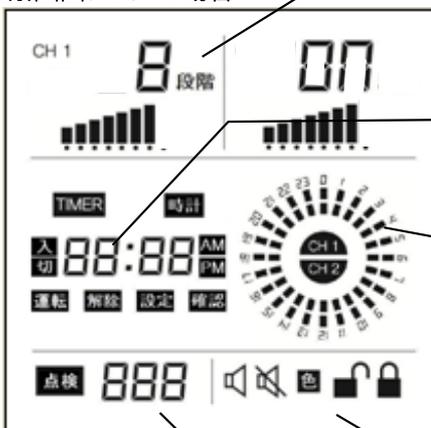


※画面は2CHの場合

- ⑤「暖房切替・時」スイッチ
- ⑥「簡易タイマー・分」スイッチ
- ⑦「設定モード」スイッチ
- ⑧「セット」スイッチ
- ②「▲」スイッチ
- ③「▼」スイッチ
- ④「ロック」スイッチ
- ①「運転・停止」スイッチ

- ①「**運転・停止**」スイッチ：電源をON・OFFします。
- ②「**▲**」スイッチ：温度設定レベルを上げるときに使用します。
- ③「**▼**」スイッチ：温度設定レベルを下げるときに使用します。
- ④「**ロック**」スイッチ：スイッチをロックするときを使用します。(3秒長押し)解除するときも同じように3秒長押しすると解除されます。
- ⑤「**暖房切替・時**」スイッチ (1CHの場合は“時”のみ表記)
2CHの場合、押すごとに暖房チャンネルを選択します。(CH1→CH2→CH1 +CH2→CH1...) また、3秒長押しすると「独立暖房」と「同時暖房」の切り替えができます。現在時刻や予約タイマーの時間を合わせるときには【時】を進めます。
- ⑥「**簡易タイマー・分**」スイッチ：押すごとに30分単位で8時間までOFFタイマーを設定できます。(電源OFFの10秒前にブザーが鳴って予告します) 現在時刻や予約タイマーの時間を合わせるときには【分】を進めます。
- ⑦「**設定モード**」スイッチ：押すごとに時計→予約タイマー→解除→設定→確認 順に選択できます。
- ⑧「**セット**」スイッチ：設定モードからの設定内容を確定します。

※画面は1CHの場合



- ①ユーザーが設定している運転モード (1：弱～10：強) を表示します。
※施工商品により運転モードが (1：弱～6：強) になる場合もあります。
- ②時計表示：
現在時刻と予約タイマーの設定時間を合わせるときに表示します。また予約タイマー運転状況を確認できます。
- ③予約タイマー表示：
チャンネル[1]と[2]の予約タイマーをグラフで確認できます。1CHの場合は、左画面のみです。
- ④付加機能の表示：
スピーカのON・OFF状況やディスプレイの色モード、またロック状態を確認できます。
- ⑤点検のエラー表示：
コントローラ異常のときに発生するエラーを表示します。

■使い方■

(1) 電源を入れて、時計を合わせる

③ 【時】と【分】を合わせます。
例)午前8時

② 4回タッチして【時計】を選択します。

① 電源をONします。

(2) 温度レベルを設定する

ヒーターの通電率レベルを設定します。

1CHの場合：設定レベルは左側に表示、出力の状況は右側にONとOFFで表示されます。

2CHの場合：各CHごとにレベルを設定できます。

※設定レベルを確認するときは【▲】または【▼】スイッチをタッチすると表示されます。

※2CHの場合
② 1回タッチしてCH1を選択します。

※2CHの場合
④ また1回タッチしてCH2を選択します。

③ CH1の温度レベルを設定します。(例7段階)

※2CHの場合
⑤ CH2の温度を設定します。(例6段階)

① 電源をONします。

(3) 予約タイマー運転

予約タイマー（入時間と切時間）を設定すると、設定した時間帯しか運転できません。

チャンネルごとに予約タイマー設定ができます。(円グラフの内側:CH1、外側:CH2)

※参考：現在時刻が予約タイマー時間帯に入っていると、すぐ予約タイマー運転になります。

入時刻：午後6時の場合

③ 入時刻を設定します。
【時】と【分】スイッチをタッチして合わせます。
(例：午後6時)

① 2回タッチして【設定】を選択します。

② タッチして確定します。
④ タッチして入時刻を確定します。

切時刻：午後11時の場合

⑤ 切時刻を設定します。
【時】と【分】スイッチをタッチして合わせます。
(例：午後11時)

⑥ タッチして切時刻を確定します。
<参考>このとき「入」に点滅しているときに時刻を設定せず【セット】スイッチをタッチすると「--:--」表示が3回点滅し、予約タイマー設定が終わります。

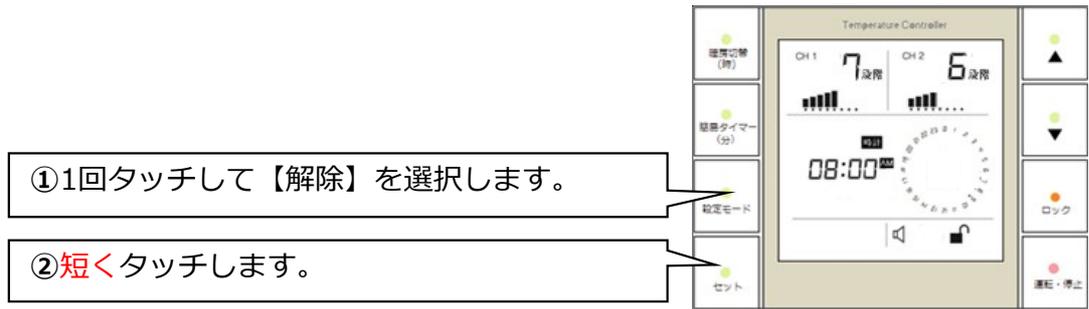
※注意：予約タイマー設定を途中で止めるときには

「入」または「切」が点滅しているときに時刻を設定せず【セット】スイッチをタッチすると「--:--」表示が3回点滅し、予約タイマー設定が終わります。

(4) 予約タイマー運転の解除

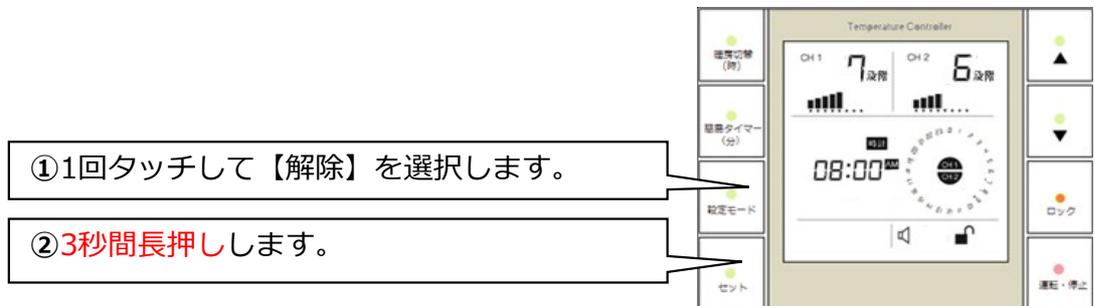
予約タイマー運転中に手動運転へ変更するときには【解除】の設定モードに合わせます。

<一時解除の場合>



※一時解除した場合、円グラフ表示が無くなり、手動運転に変更されます。このとき記憶された予約タイマーのデータは残っています。同じ手順で予約タイマーを復帰することができます。

<全解除の場合>

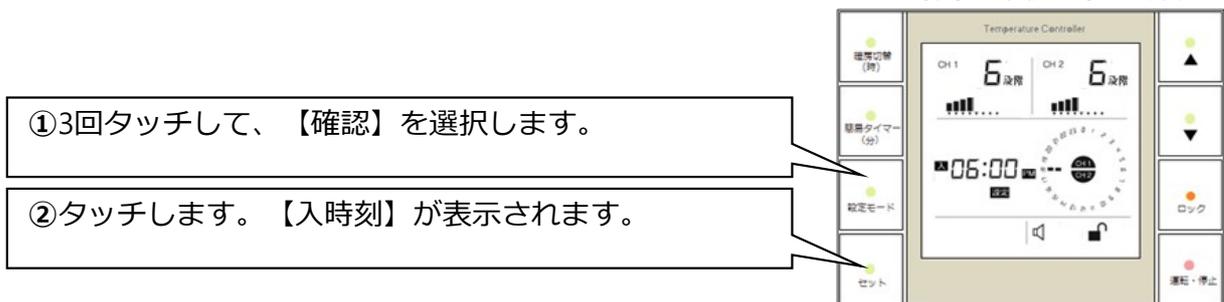


※全解除した場合、円グラフ表示のCH1とCH2の表示は残っています。このとき記憶された予約タイマーのデータは全部無くなりますので、十分ご注意ください。

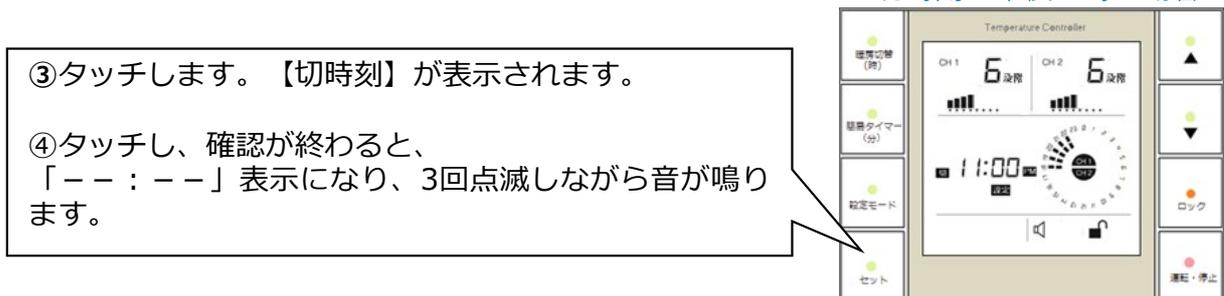
(5) 予約タイマーの確認

タイマー時間を確認するときには【確認】の設定モードに合わせます。

入時刻：午後6時の場合

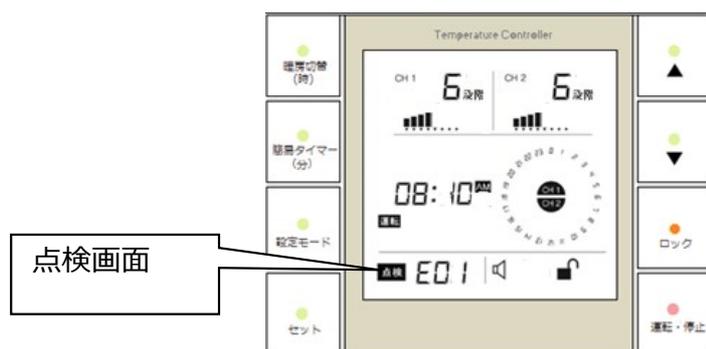


切時刻：午後11時の場合



(6) エラー表示一覧

点検が必要な場合、点検画面にエラー記号が表示され、アラームが鳴ります。



エラー表示	アラーム音	異常原因	対応
EO1	ピピピ...(連続)	CH1のセンサー断線	センサー交換
EO2	ピピピ...(連続)	CH2のセンサー断線	センサー交換
ES1	ピピピ...(連続)	CH1のセンサーショート	センサー交換
ES2	ピピピ...(連続)	CH2のセンサーショート	センサー交換
RO1	ピピピ...(連続)	CH1のリレーオープン	製品交換
RO2	ピピピ...(連続)	CH2のリレーオープン	製品交換
RS1	ピピピ...(連続)	CH1のリレーショート	製品交換
RS2	ピピピ...(連続)	CH2のリレーショート	製品交換
Oht	ピピピ...(連続)	回路保護用のコントローラ 内部センサーの過熱感知 (80°C以上)	製品交換 (5~10分間電源OFFしてから再起動して下さい。 施工場所の密閉状態を確認下さい。)
RtH	ピピピ...(連続)	リレー加熱時の 温度ヒューズ断線(115°C)	製品交換

**※その他、不具合を感じた場合は、床暖房用ブレーカを入れ直して下さい。
(この場合は、ブレーカを一度落として30秒待ち、再度ブレーカを上げて下さい)
再発する場合は、販売店またはメーカーに連絡をお願いします。**

※情報表示部に、表示が出た際は点検依頼の前に、エラー番号がある場合は控えていただき、床暖房用ブレーカの入り切りをお試しく下さい。現代の電気機器（家電機器）の普及は、我々の生活を快適にする一方、目に見えない信号により機器が干渉を受ける場合があります。ブレーカリセットで一時的な動作不安定が回復する場合があります。物理的な故障であれば一般的には直りませんので、点検・コントローラ交換が必要となります。

※床暖房の上に、ラグやカーペットを敷くと、熱がこもって十分に温まらないことがありますので、ご使用はお控えください。